

平成31年3月22日

議員各位

総務文教常任委員会

委員長 岩永政則

委員長報告書

総務文教常任委員会に付託された議案等の審査結果について、会議規則第41条の規定により報告いたします。

1.審査期間：平成31年3月11日～19日

2.付託された議案等

議案番号	件名	結果
1	上長与地区公民館の特別施設使用料条例を廃止する条例	賛成多数 可決
2	長与町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 可決
3	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 可決
6	平成30年度長与町一般会計補正予算（第5号）	全会一致 可決
11	平成31年度長与町一般会計予算	賛成多数 可決
12	平成31年度長与町駐車場事業特別会計予算	全会一致 可決

議案第1号 上長与地区公民館の特別施設使用料条例を廃止する条例

審査日	平成31年 3月 11日
出席委員	岩永政則 分部和弘 浦川圭一 中村美穂 金子 恵 喜々津英世 山口憲一郎 堤 理志
説明員	森川教育次長 青田生涯学習課長 その他関係職員

【提案理由・主な内容】

今回の改正は昨年5月に浴場ボイラーが故障し、浴場の使用を休止している。浴場施設については、年間の運営や、老朽化した施設の維持・管理に多額の経費がかかること。浴場施設は町内に町営を含め4カ所あること。利用者が固定化しており、今まで以上に多くの住民が、気軽に立ち寄れる交流の場を提供したいなどの理由で浴場施設の再開を断念したことから、上長与地区公民館の特別施設の使用料が不要となるため、当該条例を廃止するもの。

施行期日は、平成31年4月1日とするもの。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質 疑 : 浴場施設の年間利用者はどの程度か。

答 弁 : 27年度 23,095人 28年度 23,809人 29年度 22,758人である。

質 疑 : 住民説明会には地元の住民以外では、どこの地域から参加していたのか。

答 弁 : 全体の半数が地元の住民で、その他は高田郷、丸田郷、斉藤郷から参加していた。

質 疑 : 継続する上で、入浴料の値上げや営業時間の延長など利用者拡大につながる検討はされたのか。

答 弁 : 料金については400円以上であれば可能という試算は行った。延長に関しては人件費の問題がある。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第2号 長与町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

審査日	平成31年 3月 11日
出席委員	岩永政則 分部和弘 浦川圭一 中村美穂 金子 恵 喜々津英世 山口憲一郎 堤 理志
説明員	山本総務部長 荒木総務課長 その他関係職員

【提案理由・主な内容】

今回の改正は職員の過度な長時間労働を制限し、もって「効率的かつ良好な労働環境の整備」に繋げるため、国家公務員における人事院規則の改正に準じ、時間外勤務命令の上限等を定めるもの。

施行期日は、平成31年4月1日とするもの。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質 疑 : 時間外労働時間の現状と今回の改正で負担軽減はされるのか。

答 弁 : 29年度は月45時間以上が56人。80時間以上が20人である。45時間以上が6カ月を超えている職員が1人いる。30年度の業務改善の中、2月末で年間360時間を7人がオーバーしている現状である。今後、一定の業務の棲み分けで負担軽減となるよう、適正な人員配置を進めていきたい。

質 疑 : 税務課以外で時間外労働時間が多い部署はどこか。

答 弁 : こども政策課、健康保険課、福祉課などであるが、業務の配分見直しなどで平準化され、一定の改善が反映されている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第3号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

審査日	平成31年 3月 11日
出席委員	岩永政則 分部和弘 浦川圭一 中村美穂 金子 恵 喜々津英世 山口憲一郎 堤 理志
説明員	山本総務部長 荒木総務課長 その他関係職員

【提案理由・主な内容】

今回の改正は福祉および介護保険の分野における専門職の報酬額について見直しを行うことにより、処遇の改善を図るもの。また、別表の町長の部の「介護保険専門員Ⅱ」「介護相談員」「介護相談訪問看護師」「障害者相談支援専門員」「療育指導員」「原爆被爆者健康生活相談員」「包括支援センター専門員Ⅲ」の報酬時間額を改定するもの。

施行期日は、平成31年4月1日とするもの。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質 疑 : 報酬時間額が40円アップされ、1,260円となっているが根拠は何か。

答 弁 : 臨時パート職員の時給引き上げに伴い、同額程度か若干の増額での検討を行い今回改正した。

質 疑 : 近隣自治体の状況は確認したのか。

答 弁 : 時津町は1,370円、長崎市はもっと高い状況である。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第6号 平成30年度長与町一般会計補正予算（第5号）

審査日	平成31年 3月 11日～12日
出席委員	岩永政則 分部和弘 浦川圭一 中村美穂 金子 恵 喜々津英世 山口憲一郎 堤 理志
説明員	山本総務部長 久保平企画財政部長 松邨住民福祉部長 中山健康保険部長 緒方建設産業部長 森川教育次長 谷本議会事務局長 その他関係職員

【提案理由・主な内容】

今回の補正は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ2億4,550万5千円を減額し、補正後の総額を130億609万1千円とするもの。

○歳入の主なものは

- 1 款町税では、町民税、固定資産税および都市計画税の現年課税分を増額計上。
- 8 款地方特例交付金および9 款地方交付税の交付額決定による計上。
- 1 1 款分担金および負担金は、長与・時津環境施設組合派遣職員給与負担金を計上。
- 1 3 款国庫支出金は、プレミアム付商品券事務費補助金を新たに計上。
- 1 6 款寄附金は個人・団体から寄せられた寄附を計上。
- 1 7 款繰入金は、財政調整基金繰入金の増額および教育振興基金繰入金などの減額計上。
- 2 0 款町債は、事業費の減額に伴う充当起債の減額計上。

○歳出の主なものは

- 1 款議会費は議員期末手当、費用弁償などの減額計上。
- 2 款総務費は長崎県派遣職員負担金の増額および庁舎施設整備改良工事費などの減額計上。
- 3 款民生費は放課後児童クラブ運営費補助金など減額計上。
- 6 款農林水産業費は農村地域防災減災事業負担金などの減額計上。
- 8 款土木費は土地区画整理事業特別会計繰出金などの減額計上。
- 9 款消防費は広域消防事業負担金の減額計上。
- 1 0 款教育費は教育振興基金への積立金を計上。小中学校への空調設備工事費など減額計上。

以上の説明があった。

【主な質疑】

（総務部）

質 疑： 防犯灯の工事費は減額せずに来年度予定分の工事を前倒して、発注できなかったのか。

答 弁： 今年度の自治会、要望分は完了している。来年度に新たに自治会からの要望を出してもらうので、それからの工事になる。

(企画財政部)

質 疑 : 町制施行 50 周年記念全国放送公開番組の債務負担行為補正について廃止になった理由は何か。

答 弁 : 会場規模を含めて開催条件を満たせなかったのが主な理由。

(住民福祉部)

質 疑 : プレミアム付商品券の購入対象者は何人か。

答 弁 : 住民税非課税者 6,500 人、3 歳未満の子の数 1,200 人となっている。

(健康保険部)

質 疑 : 健康診査委託料は 300 万円減額だが、受診予定者の推移はどうなっているのか。

答 弁 : 29 年度の子宮がん検診 1,550 人、乳がん検診 970 人。30 年度の子宮がん検診 1,790 人、乳がん検診 1,520 人であるが、30 年度は新たに胃カメラ受診を 500 人分計上している。

(建設産業部)

質 疑 : 藤ノ棟ため池の耐震工事の内容は。

答 弁 : 25 年度に県が耐震調査を行ったときに、震度 5 弱レベルで安全性が国の基準より下回っていることが確認された。ため池本体底部とクラックが数カ所あり、盛土補強工事とクラック補強工事を行う。工事期間は 31 年度から 34 年度までである。

(教育委員会)

質 疑 : 小中学校の空調設備設置工事費が減額されているが、全体の工事費についてはどの程度の金額になるのか。また国と町の負担割合はどうなるのか。

答 弁 : 契約額ベースで工事費は約 4 億 200 万円。事業費では管理委託料が未契約となっているが事業費全体で約 4 億 3,000 万円になり、この事業費に対する国からの補助金約 6,700 万円が地方債借入れが約 3 億 700 万円となっている。割合については、国補助金と交付税措置の総額が約 1 億 4,700 万円 (34%)、残りの約 2 億 8,500 万円が町負担分 (66%) と試算している。

(議会事務局)

質 疑 : 会議録作成システムは機能しているのか。

答 弁 : 12 月分までホームページにアップできた。今定例会からゼロスタートで取り組むことができるので、目標の作成期間になるよう進捗を確認していきたい。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第11号 平成31年度長与町一般会計予算

審査日	平成31年 3月 12日～15日
出席委員	岩永政則 分部和弘 浦川圭一 中村美穂 金子 恵 喜々津英世 山口憲一郎 堤 理志
説明員	山本総務部長 久保平企画財政部長 松邨住民福祉部長 中山健康保険部長 緒方建設産業部長 森川教育次長 山口会計管理者 谷本議会事務局長 その他関係職員

【提案理由・主な内容】

平成31年度一般会計予算の総額を、127億8,968万5千円としているが、平成30年度に比べて5億3,514万2千円、率にして約4.4%の増額予算となっている。

○歳入の主なものは

1款町税では、45億872万1千円を計上。前年度比5,145万円の増で、法人町民税と固定資産税の増額が要因。

2款地方譲与税から7款自動車取得税交付金までは、29年度決算額及び30年度歳入状況を考慮し、全体で1,400万円の増額。

8款地方特例交付金では、幼児教育無償化実施のための子ども・子育て支援臨時交付金の1億4,380万7千円を計上。

9款地方交付税は7,000万円の増額。10款交通安全対策特別交付金は、前年度と同額を計上。

13款国庫支出金は、障害者自立支援給付費負担金、保育所運営費負担金及び児童手当負担金など18億2,436万3千円を計上。前年度比1億2,464万1千円の増で、保育所運営費負担金及びプレミアム付商品券事業補助金の増額が主な要因。

14款県支出金は、9億8,186万7千円を計上。前年度比4,820万1千円の増は、保育所運営費負担金及び選挙委託金の増額などが主な要因。

17款繰入金は、12億6,698万3千円を計上。前年度比3億1,523万8千円の増は、財政調整基金繰入金の増額が主な要因。

○歳出の主なものは

1款議会費は、1億3,881万8千円を計上。前年度比36万1千円の増額。

2款総務費は、14億7,759万8千円を計上。前年度比1億6,088万9千円の増額は、戸籍住民基本台帳費のコンビニ交付システム導入経費、選挙費の統一地方選挙関連経費の増額が主な要因。

3款民生費は、52億3,641万8千円を計上。前年度比2億5,925万6千円の増額は、社会福祉費の障害者福祉費及びプレミアム付商品券事業、児童福祉費の児童福祉運営費の増額などが主な要因。

4款衛生費は、10億9,887万4千円の計上。前年度比3,128万5千円の増額は、清掃費のごみ処理費の増額が主な要因。

6款農林水産業費は、2億167万7千円を計上。前年度比123万1千円の増額。

8款土木費は、15億616万4千円を計上。前年度比603万8千円の増額。

10款教育費は、12億733万8千円を計上。前年度比5,342万1千円の増額は、社会教育費の町民文化ホール防水改修工事、保健体育費の学校給食共同調理場空調設備設置工事が増額の主な要因。

12款公債費は、13億8,168万5千円を計上。前年度比2,625万8千円の減額。
以上の説明があった。

【主な質疑】

(総務部)

質疑： 平和のつどいについて、屋内事業に切り替えた理由はなにか。

答弁： 8月9日であり近年の気象状況を考え、熱中症防止のため屋内に切り替えた。

質疑： 庁舎内電気使用料が前年度より270万円減額になっているが、新電力に切り替えたことによる効果なのか。

答弁： 新電力に切り替えたことによるものである。

質疑： 町制施行50周年記念誌・記念動画はどの程度作成するのか。また、それぞれの予算はいくらか。

答弁： 記念誌は2,000部198万円。ダイジェスト版は14,000部107万8千円で世帯配布する。動画作成は347万7千円でDVD1,000枚も作成する。

(企画財政部)

質疑： 結婚相談事業の現在の状況と今後の取組はどうなっているのか。

答弁： 登録者は26年度の開設時115人でピーク時の27年度が161人の登録があった。その後、減少傾向となっている。昨年度に婚活の応援パンフレットを全世帯配布したが、現在65人の登録となっている。今後はイベントの充実と新しい県事業なども活用していく。

質疑： 町制50周年記念に民間公開番組の誘致も予定されているようだが、内容と予算はどのようになっているのか。

答弁： まず応募を行ない、時期、場所、企画内容で選考される。出品は100件を超えるくらいの応募が欲しいが、テレビ出演は6件程度になると思う。予算はトータルで107万円を予定している。

質疑： 評価替えに伴う航空写真撮影は、ドローンによる空撮で対応ができないのか。

答弁： ドローンは部分的なものになる。全体的ということを考えると、航空機による写真撮影になる。

(住民福祉部)

質疑： 資源化物の回収で自治会分は減少し、常設分が増えているのではないのか。

答弁： 現在、常設倉庫分が全体の20%で、増加傾向にある。

質疑： 住民票などのコンビニ交付については、町内全てのコンビニで利用できるのか。また、交付手数料はどうなるのか。

答弁： 全国のコンビニで利用可能となっている。交付手数料については現行手数料と同額である。

質疑： 病児・病後児保育施設はどこになるのか。

答弁： 長与町内のクリニックになる。

(健康保険部)

質 疑 : 健康ポイント事業については参加者を 800 人から 1500 人に増やす目標だが、若い人への周知も必要になってくると思うがどうか。

答 弁 : 「ながよ健康の町応援団」として町内事業所への周知を行い、長与町で働く町外者も対象とした。また、企業に勤務する長与町在住者にも周知を行いたい。

質 疑 : 肺炎球菌とインフルエンザの予防接種数の算定はどのようにしたのか。

答 弁 : 肺炎球菌は毎年 800 人から 1,000 人接種していたが 31 年度より 5 年毎の 2 回目になる人がいることから 800 人とした。インフルエンザは例年 5,100 人から 5,300 人接種しているので 5,400 人としている。

(建設産業部)

質 疑 : シーサイドマルシェの補助金の目的は何か。

答 弁 : 町内の特産品及び店舗の PR と町内外の個店の交流、観光客との交流を目的としている。

質 疑 : スパイラルスライダーは利用停止中だが、今後の改修計画はどうなっているのか。

答 弁 : 今年度、公園長寿命化計画を策定し計上している。32 年度位に事業計画ができれば、33 年度に事業実施と考えている。町の財政と県の補助金の関連もあるので話を詰めて早く実施できればと考えている。

質 疑 : 都市再生整備計画の事後評価業務の委託料の内容は何か。

答 弁 : 町民にアンケート調査を計画している。今回のまちづくり、市街地整備事業の効果及び目標値に対する満足度・達成度を調査するための委託料となっている。

(教育委員会)

質 疑 : プログラミング教育の準備はあるのか。担任の負担はどうなるのか。

答 弁 : 教材は小さなブロックでロボットを組立て、搭載したコンピューターに作成したプログラムを入力。6 年生が 3 人一組となりロボットを動かし競技するロボットコンテストを行う。準備としては 6 年生の担任にルールと扱い方の研修を行うだけで大きな負担はない。

質 疑 : 通学合宿の謝礼 4 万円の内容はなにか。

答 弁 : 風呂のもらい湯とシーボルト校に協力の依頼をしているので謝礼と考えている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第12号 平成31年度長与町駐車場事業特別会計予算

審査日	平成31年 3月 12日
出席委員	岩永政則 分部和弘 浦川圭一 中村美穂 金子 恵 喜々津英世 山口憲一郎 堤 理志
説明員	山本総務部長 井川契約管財課長 その他関係職員

【提案理由・主な内容】

平成31年度駐車場事業特別会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ775万3千円とするもので、前年度比15万8千円、約2.0%の減額となっている。

○歳入の主なものは

1 款使用料及び手数料は、定期で長与町嬉里駐車場が年間319万1千円。吉無田駐車場は年間215万8千円。一般の駐車場では年間240万円を見込んでおり、使用料収入は775万円を計上。

○歳出の主なものは

1 款総務費は、総務管理費で駐車場管理委託料493万2千円。タイムレジスタ賃借料2万1千円など、総額765万3千円を計上。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質 疑 : 定期契約1台のみの利用だけではなく、車種を入れ替えての利用は可能なのか。

答 弁 : 1区画につき、2台の登録が可能で車種を入れ替えての利用はできるようになっている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。